



企業のCO₂削減量を活用！ 脱炭素と産業振興の 好循環を目指す

☎産業イノベーション課 ☎39・2402

「2050年カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量の実質ゼロ）」の実現に向け、社会全体で脱炭素化が求められています。市は、需要が高まる脱炭素の取り組みに着目。市内企業や長岡商工会議所、金融機関と連携し、産業振興に向けたプロジェクトを新たに始めました。

太陽光発電の成果を集約 売却益で新たな支援

プロジェクトでは、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂削減量を、「J-クレジット」として国が認証する制度を活用します。参加企業が太陽光発電設備の導入で生み出したCO₂削減量を市が集約。クレジットにして、大企業などに売却します。その売却益で、新たな企業の省エネ・再エネ設備の導入などを支援。脱炭素の取り組みを市内の産業界に波及させます。

環境に優しい脱炭素経営を促進し、市内企業の競争力を高め、産業振興につなげます。

「2050年カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量の実質ゼロ）」の実現に向け、社会全体で脱炭素化が求められています。市は、需要が高まる脱炭素の取り組みに着目。市内企業や長岡商工会議所、金融機関と連携し、産業振興に向けたプロジェクトを新たに始めました。

12社の参加でスタート

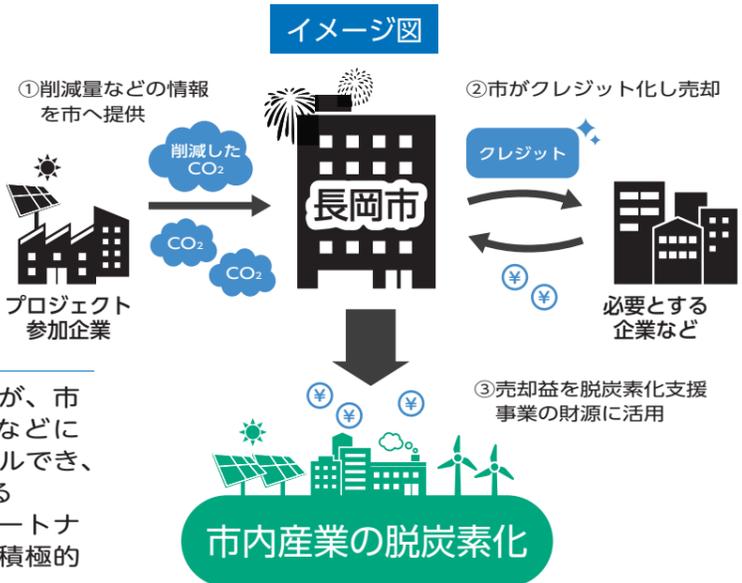
商工会議所や金融機関と連携し、新たな企業の参加を呼び掛けていきます。



▲プロジェクトの詳細はこちら

参加企業のメリット

- ・企業単独では活用が難しかったCO₂削減量が、市の産業振興に活用されることで、取引先などに「脱炭素」「地域貢献」の取り組みをアピールでき、選ばれる企業として競争力の強化が図られる
- ・市が「長岡市カーボンニュートラル推進パートナー企業」として認証し、各社の取り組みを積極的にPR。企業イメージの向上が期待できる



雪国でも太陽光発電！普及を目指します

市は、雪国での太陽光発電の普及を目指し、実証実験によりさまざまな太陽光パネルの有効性を確認しています。

今年度は市内企業と連携し、南部体育館などに「軽量・薄型・柔軟」の特徴を持つフレキシブル太陽光パネルを設置。雪国の建物に対応できるか、雪の付着状況や発電量などの性能を確認します。結果を太陽光発電事業に参入したい企業と共有し、雪国での普及につなげます。

☎環境政策課 ☎24・0528



壁面や曲面にも設置ができるので、雪の重みで破損するリスクが低いです！



受け入れ
団体

長年の夢だった観光農園、ついに実現

和島に多くの人が集うよう、平成15年に未利用地の整備を始めました。19年にはブルーベリー摘みができる観光農園を夢見て3,000坪の敷地に苗木を植えました。そこに現れたのが武樋淑江隊員でした。農業法人に勤めた経験と、農園オープンへの強い想いを感じ、受け入れを決意。昨年6月に着任し、プレオープンという形で2カ月間の営業ができました。

隊員には、われわれの夢を実現する大きな力だけでなく、地域の将来を照らす希望のような明るさがあります。これからも、一緒に頑張って地域を盛り上げていきたいです。

NPO法人和島夢来考房
代表理事 久住 郁夫 さん



▶コンテナ容器で育てたブルーベリーを使い、福祉施設で「出張観光農園」を行う武樋隊員。「誰にでも気軽に摘み取りを楽しんでもらえるよう、この運営形態にも力を入れていきます」

新しい力、次々と

今年度は新たに12人の隊員を受け入れた長岡市。1月1日に着任した長岡出身の2人に、今後の抱負を聞きました。

イベント開催を支援し、アオーレに笑顔を！

アオーレ長岡でイベントを開催したい団体をサポートして、みなさんに笑顔になってほしいです。小国地域出身なので、いずれは自分でも、小国の特産品をPRするイベントを開きたいです。

NPO法人ながおか未来創造ネットワーク 山岸 航大 さん (写真右)

学生に寄り添い、長岡を盛り上げたい

高校時代に市民活動団体を立ち上げた経験を活かして、学生の“やりたい”を応援します！「長岡には応援してくれる大人がたくさんいること」を知ってもらい、自由に活発な活動につなげたいです。

ながおか・若者・しごと機構 佐藤 美優 さん



県外の友人などにご紹介を！ 隊員募集中

特産品の販路拡大やアオーレ長岡の普及など、専門的な知識を持つ人材を募集しています。

▶詳しくはこちら



地域おこし協力隊を もっと知りたい人は公式SNSで

新任隊員の紹介やイベント情報などをリアルタイムで発信しています。ぜひご覧ください。



Instagram



Facebook

